

| | | | |
|--|---|---------------------------------|--------------------------------|
| 科目名：保育内容演習 表現 | | 講義・ <input type="checkbox"/> 演習 | 担当教員名： 武藤 紀子 |
| | | | 実務経験 : 有 |
| 1年次 前期 | 1単位 | | 選択 <input type="checkbox"/> 必修 |
| <p>授業の到達目標及びテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現とは何か・・・いろいろな角度から考えられることを学ぶ。 ・子どもの発達や遊びを理解し、子どもが表現すること(感性や創造性)の援助を学ぶ。 ・目に見える表現ばかりでなく、内面的な表現の捉え方など理解する。 ・実践的な(音楽・造形・身体表現他)だけでなく、内面的なものを現わすことの大事さを知る。 | | | |
| <p>授業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現の意味を、理論的にまた、講義の中に実技を織り交ぜながら進めていく。 ・子どもの発達を身体的だけでなく、心の発達を重視しながら形容詞的部分を大事に捉え、抽象的な気持ちや感情・発想などを大切に見ていく。 ・自分で表現することを経験しながら、表現する意味を理解し大切さなど捉えていく。 | | | |
| 授業計画 | | | |
| 1 | 表現とは何か・・・保育指針の中の“表現”の位置 | | |
| 2 | 表現遊び“自分をアピールしよう” | | |
| 3 | 乳幼児の発達を表現として捉える。身体的発達をしっかり捉える。 | | |
| 4 | 乳幼児の発達を表現として捉える。身体的発達と共に表現の仕方を理解する。 | | |
| 5 | 保育の中の表現を支える環境作り | | |
| 6 | 生活の中にあるものを表現として味わい感性を養う ((生活の中にある形・動き他) | | |
| 7 | 生活の中にあるものを表現として味わい感性を養う (生活の中の音・触れるもの) | | |
| 8 | 美しさを経験し、美しさを表現し感性を養う。 | | |
| 9 | 表現遊び“新聞紙で表現する” | | |
| 10 | コミュニケーションとしての表現 (まねる・見せる他) | | |
| 11 | 保育者が支える表現 (保育者の基本的な在り方) | | |
| 12 | 保育者が支える表現 (豊かな表現を支える援助や環境について) | | |
| 13 | 表現を支えるための保育者の役割 | | |
| 14 | 表現の現代課題を考える。 | | |
| 15 | まとめ及び試験 | | |
| テキスト 保育内容演習表現一日々わくわくと生きる子どもの表現一 | | | |
| 参考書等 新聞の情報他 | | | |
| 評価の方法 試験における内容理解・自己表現におけるアピールの表現方法など | | | |